

研究 成 果 報 告 書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文)	江戸時代後期の気候変動と食糧供給の研究		
研究テーマ (英文)	Research on climate change and food supply in the late Edo period		
研究期間	2018年 ～ 2021年		研究機関名 琉球大学
研究代表者	氏名	(漢字)	武井 弘一
		(カタカナ)	タケイ コウイチ
		(英文)	Koichi TAKEI
	所属機関・職名		琉球大学国際地域創造学部・准教授
共同研究者 (1名をこえる場合は、別紙追加用紙へ)	氏名	(漢字)	
		(カタカナ)	
		(英文)	
	所属機関・職名		

概要 (600字～800字程度にまとめてください。)

日本列島の歴史において、江戸時代(1603～1867)には、気候変動の影響を受けて、どうやって食糧を供給すればよいのかが政治上で大きな課題となっていた。とりわけ、江戸時代後期になると、未曾有の大飢饉が発生し、数十万人以上もの命が失われることもあった。

すなわち、本研究の目的は、江戸時代後期に日本社会はどのような気候変動の影響を受け、いかにして食糧を供給できたのかを解明することであった。その具体的な研究成果は、次の3点にまとめることができる。

第1は、食糧供給に関する先行研究の整理をし、気候変動を視野に入れながら、この研究を発展させていくための視点を明らかにしたことである。そのために、江戸時代に発生した凶作・飢饉に注目した。これに関する研究成果は、武井弘一「食糧危機は天災なのかー日本近世の飢饉研究の新視点ー」(石井美保・岩城卓二・田中祐理子・藤原辰史編『環世界の人文学ー生と創造の探究』、人文書院、2021年)で公表している。

第2は、気候変動の影響で凶作・飢饉に陥った時に、領主はどのようにして食糧を供給していたのを明らかにしたことである。江戸中期の元禄期(1688～1704)に、寒冷化の影響などもあり、能登半島では凶作・飢饉に見舞われた。その実態を詳細に分析し、その研究成果は武井弘一「元禄期の凶作・飢饉と能登奥郡」(『地理歴史人類学論集』10、2021年)で公表している。

第3は、食糧供給にとって不可欠だった肥料に着目したことである。江戸時代後期の食糧生産において、肥料として使われていたのが、イワシ・ニシンを加工した肥料である魚肥であった。その魚肥がどのようにして生産され、農村に流通して消費されていたのかを明らかにした。その研究成果は、今後、武井弘一編『(仮)イワシ・ニシンと江戸時代』(吉川弘文館、2021年)で公表される予定である。

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）						
雑誌	論文課題	元禄期の凶作・飢饉と能登奥郡				
	著者名	武井 弘一	雑誌名	地理歴史人類学論集		
	ページ	61～77	発行年	2 0 2 1	巻号	10
雑誌	論文課題					
	著者名		雑誌名			
	ページ	～	発行年		巻号	
雑誌	論文課題					
	著者名		雑誌名			
	ページ	～	発行年		巻号	
図書	書名	環世界の人文学― 生と創造の探究（共著）				
	著者名	武井弘一（石井美保・岩城卓二・田中祐理子・藤原辰史編）				
	出版社	人文書院	発行年	2 0 2 1	総ページ	479
図書	書名	（仮）イワシ・ニシンと江戸時代（共著）				
	著者名	武井弘一・菊池勇夫・高槻泰郎（武井弘一編）				
	出版社	吉川弘文館	発行年	2 0 2 1	総ページ	未定

英文抄録（100語～200語程度にまとめてください。）

In the history of the Japanese archipelago, during the Edo period (1603–1867), how to supply food was a major political issue under the influence of climate change. In particular, in the late of the Edo period, an unprecedented famine occurred, and hundreds of thousands of lives were lost.

In other words, the purpose of this study was to elucidate what kind of climate change affected Japanese society in the late of the Edo period and how it was able to supply food. As a concrete research result, we analyzed what kind of research is being done on climate change and food supply, and clarified the actual conditions of crop failure, famine, and fertilizer during the Edo period.

共同研究者	氏名	(漢字)	菊池 勇夫	
		(カタカナ)	キクチ イサオ	
		(英文)	Isao Kikuchi	
	所属機関・職名		宮城学院女子大学・名誉教授	
	氏名	(漢字)	高槻 泰郎	
		(カタカナ)	タカツキ ヤスオ	
		(英文)	Yasuo Takatsuki	
	所属機関・職名		神戸大学経済経営研究所・准教授	
	氏名	(漢字)		
		(カタカナ)		
		(英文)		
	所属機関・職名			
	氏名	(漢字)		
		(カタカナ)		
		(英文)		
	所属機関・職名			
	氏名	(漢字)		
		(カタカナ)		
		(英文)		
	所属機関・職名			
	氏名	(漢字)		
		(カタカナ)		
		(英文)		
	所属機関・職名			
氏名	(漢字)			
	(カタカナ)			
	(英文)			
所属機関・職名				
氏名	(漢字)			
	(カタカナ)			
	(英文)			
所属機関・職名				
氏名	(漢字)			
	(カタカナ)			
	(英文)			
所属機関・職名				